

点検ケーススタディー (ブレーキオイル篇)

いってきまーすの、その前に!



今回は、安全運行に欠かせない「ブレーキオイル」に関するトラブルとその予防法を紹介します。

ペダルを床まで踏まないと
ブレーキが効かない、
効き始めが遅い

もしかすると・・・

ブレーキオイルが不足している。

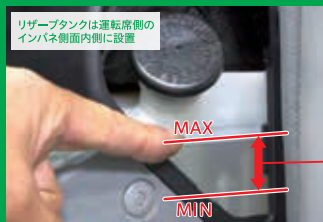
そのままにしておくと・・・

●ブレーキが効かなくなり、
事故につながる危険がある。

予防のポイント!

- リザーブタンク内の液量が規定の範囲内にあるか点検。
- 液面が「MAX」と「MIN」の線の間にあれば良好。
- 「MIN」の線より下の場合、配管系に液漏れのないことを確認し、日野純正ブレーキフルードを「MAX」の線まで補給する。

*MT車の場合:リザーブタンクはブレーキ・クラッチ共用です。



ブレーキフルードが異常に不足している場合

液漏れの可能性があります。ブレーキが効かなくなる恐れがありますので、直ちに日野整備工場へ点検・整備を受けてください。

普段とは異なる症状が出たら日野整備工場へ。点検・整備について詳しくはこちら

🔍 日野デュトロ メンテナンス